

第1学年 生活科学習指導案

1 単元名 「とびだせ あそびたい！」 ～あきからのおくりもの～

2 指導観

<こんな子どもだから>
 学校探検や校区探検を通して、草花あそびや虫見つけに興味をもち、遊びの中に自然を取り入れられるようになってきている。(関心・意欲・態度)
 遊んだ経験を友達に教えたり広めたりするようになってきてはいるが、それを表現したり積極的に友達のアイデアを取り入れようとしたりするまでには至っていない。(思考・表現)
 生活の中で、四季を通じての季節の変化に気付くことができていない子もいる。(気付き)

<こんな単元で>
 本単元は、自然と楽しく遊ぶ活動を通して、自然の様子に関心をもたせ、その楽しさを味わわせることと季節の変化に気付かせることをねらいとしている。また、自然を使った遊びを通して人と関わることで、自分の成長に気付かせることもねらいとしている。

校庭や公園の秋の様子の変化に気付き、木の葉や木の実を秋からのおくりものと考え、大切にしたり遊び道具として使ったりさせることで、自然としっかり関わらせたい。

身近な自然物を使った遊びや遊び道具を楽しんで作ることを通して、人の関わりを大切にしたいと考える。

友達から教えてもらったり一緒に作ったりすることで、互いに価値づけ合い、気付きを広げさせていきたい。また、遊びを追求する過程での体験交流を通して、友達との人間関係を深めたり広げたりして、より豊かな関係を育てたい。

そこで、一人ひとりの思いや願いを実現するために、今年の遊びの様子や作り方を2年生に教えてもらう活動を仕組み、「こんなことができるのか」という新しい発見や、「もっと工夫してみたい」という思いを膨らませたい。

さらに、「誰かと一緒に遊びたい」という思いを実現させるために、保育園児と一緒に遊ぶことで、年下の子に対する接し方を学ばせたり自分の成長に気付かせたりしたい。

<こんな支援で>
 「である」過程では、校庭や公園で秋見つけをし、集めてきた物で何が作れるか調べさせる。もっと情報を集めるために、今年の遊びについて2年生にインタビューし、実際に作ったり遊んだりする。さらに友達との遊びの体験交流を通して、遊びを工夫してもっと楽しく遊びたいという意欲をもたせたい。

【技能的側面】

「さぐる」過程では、友達からのアドバイス等をもとに遊びを追求させていきたい。また十分に作成できるように、実物の提示や遊び場の設定、材料・道具の準備等をしておく。遊んだ後の聴き合い活動で互いの工夫や努力点を認め合ったり友達の意見や考えを共感的な態度で聴いたりして、互いに受け入れる気持ちを育てていきたい。さらに、自分の遊びを誰かに見せたいという思いをもった遊びの体験交流へと発展させたい。

【技能的側面】・【価値的・態度的側面】

「ひろげる」過程では、保育園児と楽しく遊ぶための計画を立てさせることで、自分よりも年下の子への思いやりをもった接し方を考えさせたい。そして、実際に交流させることを通して、来年の1年生のために学習したことを「遊び図鑑」としてまとめ、教えたいという意欲を高めたい。

【知識的側面】・【価値的・態度的側面】

<めざす子どもの姿>

木の葉や木の実などに関心をもち、進んで集めたり遊んだりすることができる。(関心・意欲・態度)

木の葉や木の実などの特性を生かした宝物や遊び道具などを作り、みんなで楽しむことができる。また、遊びの体験交流を通して、自分や友達の工夫しているところやよいところに気付き、絵や文、言葉や作品で表現することができる。(思考・表現)

木の葉や木の実などに触れながら、校庭や公園などの秋の様子や季節の変化、自分ができるようになったことに気付くことができる。(気付き)

3 指導計画（総計18時間）

過程	主な学習活動と内容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
であう	<p>1 公園に行って，秋見つけをし，秋の様子の変化に気付く。 ・○○○公園，○○○公園，○公園 など</p> <p>2 秋で遊びたいことについて発表する。 (1) 公園に行って，見つけたことを発表する。 ・葉っぱの色が赤や黄色だったよ。 ・いっぱい葉っぱが落ちてたよ。 ・どんぐりをいっぱい拾ったよ。 (2) 集めた物を使ってやってみたいことを話し合う。 ・どんぐりごまを作りたいな。 ・葉っぱでお面を作りたい。 ・けん玉を作って遊びたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><学習課題1> あつめたあきからのおくりものをつかって，あそぼう。</p> </div> <p>3 秋からのおくりものを使って遊ぶ。 (1) 木の葉でしおりを作る。 (2) しおりの他にどんな物ができるか調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【人との関わり】 2年生</p> </div> <p>(3) 2年生に聞いたことを発表する。 ・どんぐりごまを作ったらしいよ。 ・貼り絵，メダル作りもしたらしいよ。 (4) 考えた遊びをしたり，遊び道具を作ったりする。 ・かんむりやかざり（人形）作り ・どんぐりごま作り ・けん玉作り ・迷路作り (5) 作った物で遊ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分が作った物で，学級の友達と一緒に遊ぶ。 <体験・交流活動 ></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【人との関わり】 学級の友達（同じ遊びグループ）</p> </div> <p>(6) 友達からのアドバイスを受けて，材料や作り方などの改良点を考える。 ・もっとよくしたい。 ・友達が作ったものを自分も作ってみたい。</p>	<p>公園マップから春や夏に遊びに行った公園を想起させ，秋の公園の様子の変化に意欲をもたせる。 各自箱を用意させ，集めたものを大切に保管させるようにする。 発見したことを友達に知らせるために，発見カードに書く。</p> <p>公園で集めた物や季節の変化に視点を置いて発表させるようにする。</p> <p>木の葉を使ったものを提示し，活動の意欲をもたせる。</p> <p>自分の作品を作り上げる喜びを味わわせるために全員で木の葉のしおり作りを体験させる。 半日入学や学校探検で2年生に教えてもらったことから，今回も昨年どんな物を作ったかインタビューするといふことに気付かせる。 発見カードにインタビューして分かったことを書き，次の活動につなぐようにする。</p> <p>意欲をもって活動できるように，実物の提示や遊び，材料・道具の場の設定をする。</p> <p>遊びの場の設定をし，十分に遊べるよう時間の保障をする。</p> <p>友達からのアドバイスを積極的に聞く。 十分に遊んだか振り返り，振り返りカードで自己評価する。</p> <p>振り返りカードをもとに，遊びを想起させる。 友達へのアドバイスや遊びの中での気付きなどをもとに自己評価する。</p>

<p>たぐ る</p>	<p>1 秋の自然を生かした遊びを作り出し、遊びを工夫する。 <学習課題2> あきからのおくりものをつかって、もっとたのしくなるあそびをかんがえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりごまグループ ・貼り絵グループ ・かんむりやかざり(人形)グループ ・迷路グループ <p>2 作った物を友達に見せたり、一緒に遊んだりして交流し合う。</p>	<p>遊びの発展のため、材料の準備をしたり、実物の提示や遊び、材料・道具の場を設定したりする。 同じ遊びグループで共同制作させるようにし、遊びを追求させる。</p>
	<p>友達と一緒に作った物で、もう一度学級の友達と遊ぶ。 <体験・交流活動></p> <p>【人との関わり】 学級の友達(違う遊びグループとも)</p> <p>3 楽しかったことや工夫したことなどを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと遊びたいな。 ・前一緒に遊んだ保育園の子と遊びたいな。 ・ぼく達も今の2年生に尻揚げ教えてもらったね。 <p>4 保育園児を招待するための計画を立てる。 【1年〇組本時】 聴き合い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの説明の仕方を考えよう。 ・壊れそうだから強くするために作り直そう。 ・たくさん来るだろうからおみやげのどんぐりごまをたくさん作らないといけないね。 ・チケットは木の葉にしよう。 	<p>十分に遊ぶ時間と場の保障をする。友達へのアドバイスや遊びの中での気付きなどをもとに、自己評価する。友達の工夫や努力点ですごいと思ったことを発見カードに書く。</p> <p>互いの工夫や努力点、友達の意見や考えを聴いての感想を発見カードに書き、聴き合わせる。 以前遊んだ保育園児のことを思い出させ、遊びを見せたい、遊んだ楽しさをもっと広めたいと考えさせるようにする。</p> <p>保育園児を招待することを知らせる。園児と一緒に楽しむための遊びを同じ遊びグループで追求・発展させる。園児に対してどう関わったらいいかどう遊びを工夫したら楽しくなるか考えている。</p>
<p>ひろ げ る</p>	<p>1 「〇っ子祭り」の準備をする。</p> <p>2 「〇っ子祭り」をする。 <学習課題3> ほいくしよのみんながたのしめるひがしっ子まつりをしよう。</p> <p>自分達で作った遊びを保育園児に見せ、一緒に遊ぶ。 <体験・交流活動></p> <p>【1年2組本時】</p> <p>【人との関わり】 保育園児</p> <p>3 「〇っ子祭り」を振り返って、楽しかったことや大変だったことを話し合う。 【1年〇組本時】 聴き合い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また一緒に遊びたいな。 ・何かしてあげたいな。 <p>4 活動したことを振り返り、「遊び図鑑」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の葉や木の実でどんな物が作れて、どんな遊びができるか書いておこう。 ・来年の1年生が、この図鑑を見て学習してくれるといいね。 	<p>保育園児と一緒に楽しむために、遊びのルールを工夫させる。</p> <p>園児への対応に困っている子ども達に、分かりやすく説明するよう助言をする。</p> <p>園児と触れ合って楽しかったことや大変だったことを、振り返りカードに書く。</p> <p>振り返りカードをもとに発表させる。大変だったことに対してどうしたらよいか助言し、3学期に行われる半日入学への期待を膨らませるようにする。</p> <p>来年の1年生のために学習したことを書いて残しておくようにする。 「遊び図鑑」に、自分が楽しかったものを書く。</p>

4 本時「〇っ子祭りの感想をまとめ、遊び図鑑を作る場面」(16 / 18)

5 本時の目標

保育園児との「〇っ子祭り」を通して、自分の課題を生み出し、そのことを互いに聴き合おうとすることができる。(関心・意欲・態度)

自分が取り組んでみたい活動について、分かりやすく伝えることができる。

(思考・表現)

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、校庭や公園での秋見つけから葉の色が変わったり、葉が落ちたりと季節の変化を学んできた。採ってきた木の葉や木の実などを「秋からのおくりもの」と考え、どんな遊びや遊び道具が作れるかを友達どうしの話し合いから考えを広げ、友達とつながることの楽しさを感じてきている。

たくさん遊んだ子ども達は、以前遊んだ保育園児にも「遊びを教えたいな。」と「〇っ子祭り」で一緒に遊びを楽しむことができた。小学校ではいつも年下扱いされる1年生だが、一緒に遊ぶ活動を通して自分の役割や人との関わりをもつことの楽しさを味わってきた。

本時は、前時の「〇っ子祭り」で、学級の友達がどんなことを思っていたか聴き合い、自分達のがんばりや学級全体のがんばりがあったことが祭りの成功につながったことを確かめさせる。そして、自分の遊びや遊び道具を図鑑にまとめさせたい。

導入段階では、本時学習の見通しをもち、めあてをつかませるため、園児との祭りのビデオを見て「〇っ子祭り」の思いを想起させる。祭りをして楽しかったこと、うれしかったこと、困ったことなど感想を発表し聴き合うことで、自分達のがんばりを認め、クラスの集団のよさをに気付かせるとともに、本時のめあてである「活動のまとめとして遊び図鑑を作ろう」につないでいきたい。

聴き合い活動では、互いに自分の考えが伝わるように相手に分かりやすく話したり、真剣に聴いたりするような積極的な態度を大切に、子ども達どうしが話をしっかりと聴き合い、自分達のがんばりで祭りが成功したことに気付かせることで、支持的風土のある学級集団づくりを目指したい。

展開段階では、今までの活動を記録に残すための図鑑作りに取り組む。自分達が2年生に教えてもらったこと、作った図鑑を来年の1年生に使ってもらおうことを考えに入れながら、分かりやすい図鑑にするにはどうしたらいいか話し合いをさせる。図鑑に載せたい事柄と図鑑に使う物の話し合いができたなら、図鑑作りの活動に入る。活動がスムーズに行かないグループには、他のグループ活動の様子を紹介していく。

終末の段階では、「ふりかえりカード」を書かせることで、今日の自分のがんばりを認め、遊びの図鑑を友達と作り上げる活動を通して満足感を味わわせるとともに、自分の役割・集団のよさを見直し、自他を尊重する態度を育てていきたいと考える。

7 準備

子ども 筆記用具、鉛筆、クレパス

教師 「〇っ子祭り」のビデオ

画用紙・マジック

振り返りカード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 これまでの活動を振り返り，それぞれの考えを聴き合う。</p> <p>(1) 園児との「〇っ子祭り」のビデオを見る。</p> <p>(2) 感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児といっしょに遊んで楽しかった。 ・言うことをきいてくれない。 ・遊んでうれしかった。 ・ さんと一緒によかった。 ・みんなと一緒にできてよかった。 <p>(3) 「〇っ子祭り」の成功を確かめる。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">< 本時のめあて ></p> <p style="text-align: center;">あそびのずかんをつくろう。</p> </div> <p>(1) 遊びの図鑑に何を書くか、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作った物の絵や写真 ・作り方 ・遊んで楽しかったこと ・作った人の名前 ・難しかったところ <p>(2) 図鑑に作るのに必要なものを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画用紙や色紙 ・クレパスや色ペン ・作った物の写真がほしい。 ・自分達が遊んでいる写真がほしい。 <p>3 各グループでの話し合いをもとに活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで仕上げるときには，直接書いたり，各パーツを個人で作って台紙に貼り付けたりする方法があることを確認する。 ・必要なもの…画用紙・紙・クレパス ・役 割 …絵を描く人 説明文を書く人 <p>4 本時学習をまとめ，次時学習について知る。</p> <p>(1) 「ふりかえりカード」を書く。</p> <p>(2) 次の時間に作り上げることを確かめる。</p>	<p>ビデオを視聴し，園児との祭りの様子を振り返ることができるようにする。</p> <p>よかったことだけでなく，困ったこと，いやだったことなど素直な感想を発表させる。</p> <p>板書で「自分達のがんばり」「友達によさ」「集団のよさ」の観点で整理する。</p> <p>話す人の方を見て，共感的な態度で友達の考えをしっかりと聴く。</p> <p>2年生に教えてもらったときのことを想起させ，活動につなげさせる。</p> <p>机間指導で子どもの意識や興味・関心等を把握し，個別指導を行い，自信をもって交流できるよう助言する。</p> <p>考えがまとまらない場合は，他のグループの友達の意見を聴いたり，先生に相談したりすればいいことを伝える。</p> <p>活動がうまくいかないグループは，他のグループの話聴かせる。</p> <p>スムーズに活動できるようになったグループを，クラス全体に知らせる。</p> <p>自己評価・感想等を全体場で出すことで自分達のよさに気づき，そのよさを学級全体で共有することで支持的風土のある学級作りをしたい。</p> <p>机間指導をしながら，来年の1年生が見て分かりやすい図鑑になっているかを振り返ることができるよう言葉かけをする。</p> <p>「ふりかえりカード」から，自分のがんばりを確かめる。</p>

4 本時「〇っ子祭りの計画に沿って、園児と体験・交流する場面」(15 / 18)

5 本時の目標

保育園児との祭りの計画に沿って、楽しく活動することができる。(関心・意欲・態度)
自分達が立てためあてに沿って、グループの友達と協力して、楽しい「〇っ子祭り」になる
ように工夫することができる。(思考・表現)
祭りの体験活動を通して、自分達のがんばりに気付くことができる。(気付き)

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、校庭や公園などで、木の葉や木の実などの秋の自然物を見つけたり、自然の中で遊んだりする活動を通して、春から夏、秋にかけての季節による自然の変化に気付き、秋の自然に親しむことができている。

また、見つけた木の葉や木の実を生かして、一人ひとりが自分の作りたい遊びを考えて作ったり、それで遊んだりする活動も行ってきた。その中で子ども達は、本や友達の活動のよいところを参考にしたり、自分の活動を見直したりして工夫しようとしている。遊びは一人遊びより、友達と関わる遊びの方が活動に広がりや深まりが生まれ、より豊かな遊びになるものと考え、学級でのグループ活動に広げることで、友達との関わりをもたせていった。さらに、「もっと遊びたい。誰かに見せたい。」という思いを膨らませ、自分よりも年下の子ども達に接することで、友達との交流によって個人だけでは生まれない遊びの工夫が生まれ、より多くの遊びの工夫や発展性が生まれると考える。

そこで、「〇っ子祭り」を計画して、自分達で作った遊び道具で園児達と楽しく遊ぶことができる喜びや充実感を味わわせていきたい。そのために、園児達と楽しく遊ぶにはどんなルールにしたらよいか、園児も自分達もどちらも楽しめるようにするにはどんな工夫をしないといけないかをしっかり考えさせる取り組みを行いたい。そのことにより、いっそう楽しく遊ぶことに自己肯定感が高まり、さらに充実感が得られ、周りの人と進んで交流しようという態度が育つと考える。

本時は、前の時間に話し合った自分達のめあてに沿って、園児と遊びの交流を図る学習である。実際、年下の園児と関わることで、相手意識を明確にもって園児と関わり互いに考えを出し合ったり、互いのよさを認め合ったり、自分の遊びを楽しい遊びに発展できることをねらいとしている。

導入段階では、来てくれた園児達に楽しんでもらうためにどうすればよいか、マナーや挨拶、言葉かけについて確認をして園児達を招待する。祭りの進行役を勤める児童を決め、プログラムに沿って楽しい祭りになるために、全体で交流をする。

全体交流の中で、なごやかな雰囲気の中で交流が進められるように、歌を歌ったり交流の約束を説明したりする。その後、遊びのグループごとに分かれて遊びの準備をし、役割に従って活動の確認をさせる。遊びの準備ができたなら、園児達を誘いに行く。園児には、あらかじめ遊びのコースを知らせておき、どこのグループでも遊ぶことができるようにする。

展開段階では、グループで作った遊びを紹介して、園児達に楽しく遊んでもらう。ルールが分かるように園児に説明できているか、児童も園児も楽しめるように配慮しているか目を配るようにして進める。子ども達の意欲が増すように、力を合わせている姿に賞賛の声かけをする。さらに、交流する中で、楽しい祭りになる工夫として、グループごとにおみやげを用意しておく。

友達や保育園の先生などから助言や賞賛を受けて、遊びをさらに楽しいものに改良しようとする新たな気付きや発見、互いの知識を出し合って交流することのよさや、遊びによって人との関わりが深まっていくことに気付かせていきたい。それらのことにより、身近な自然や人との関わりによって、自分の遊びや生活が豊かになっていくことに気付かせていくことができると考える。また、遊びを追求する過程での体験交流を通して、友達との人間関係を深めたり広げたりして、互いに受け入れる気持ちをもった支持的風土のある学級集団を目指したい。

終末の段階では、交流を終え、全体で集合して今日の活動を振り返る。一緒に遊んだ園児の中から2～3人の園児と園の先生に感想を言ってもらう場面をつくる。園児や園の先生からの感想を聴くことにより、自分達の活動に満足感や充実感をもつであろう。園児との交流を終え、「〇っ子祭り」の学習をまとめる活動を行う。自分の活動の足跡が残る「ふりかえりカード」を書かせ、それを手がかりに自分の活動を振り返り、自分のよさ、成長したところ、見方が変わったことを考えさせる。さらに、数名の児童に発表する場面を設定し、学習のまとめをするための方法について考える次時の予告につなげていく。

7 準備

子ども 自分達で作った遊び物
「〇っ子祭り」に用意する物(招待状・プレゼント 等)
教師 前時までの学習掲示物
「〇っ子祭り」を成功させるための工夫(視点)
振り返りカード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 これまでの活動を振り返り，本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 自分より年下の園児達によく分かるような工夫について確かめる。</p> <p>(2) 仲良く遊ぶための約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>< 本時のめあて ></p> <p>みんなといっしょに，ひがしっ子まつりをたのしもう。</p> </div> <p>2 保育園児との交流「○っ子祭り」をする。</p> <p>(1) 全体での交流会をする。(進行...児童)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめのあいさつ ・ 一緒に歌おう <p>(2) 遊びのグループに分かれて，祭りの準備をする。</p> <p>(3) それぞれの役割に従って，活動の確認をする。</p> <p>(4) 遊びの準備ができたなら，園児達を誘いに行く。</p> <p>(5) 遊び方を説明して，園児達に遊んでもらう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>パチンコゲーム どんぐりごまゲーム まとあてダーツ どうぶつえん など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>< 交流の視点 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年下の子によく分かるように，遊びを伝える工夫や楽しんでもらうための工夫をしている。 ・ 遊びを通して自分や友達のよさに気付いている。 ・ 友達の遊びのよいところやもっと工夫したらいいところを教え合っている。 </div> <p>3 集合して，園児や園の先生の感想を聴く。</p> <p>(1) 園児2～3人に感想を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とても楽しかったよ。 ・ 1年生になるのが，楽しみです。 <p>(2) 園の先生に感想を聴く。</p> <p>4 「○っ子祭り」を終えて，「ふりかえりカード」を書き，発表を聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の先生が『上手にできたね。』ってほめてくれたよ。 ・ くんが小さな子に何度もこまを回して教えてあげていたよ。やさしいな。 ・ 分かってくれるまでルールを何度もがんばって教えたよ。 ・ 楽しい遊びを作ることができたよ。 ・ 友達と一緒に遊ぶのは楽しいな。 <p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○っ子祭りが成功したね。 <p>6 次時の予告をする。</p>	<p>本時のねらいを意識させるために，前時学習したことを提示し，意欲をもたせるようにする。</p> <p>来てくれた人を楽しんでもらうためにはどうすればよいか考えさせる。 (マナー・挨拶・言葉かけ)</p> <p>事前に保育園に連絡を取り，主旨を伝えておく。</p> <p>意欲が増すように，力を合わせている姿を認め合えるように声かけをする。</p> <p>楽しく遊べる声かけを工夫させる。</p> <p>園児の反応を見ながら，説明の仕方やルールを変える工夫をしている。</p> <p>友達の遊びのよいところや，もっと工夫すればよいところを教え合っている。</p> <p>園児や園の先生に感想を言ってもらい，子どものがんばりを評価してもらう。</p> <p>自分がかんばったところ，友達のよかったところについて書かせることで，自尊感情を高める。</p> <p>「ふりかえりカード」に自分のがんばりや友達のよさを書き，満足感を感じさせる。</p> <p>教師が子どもの活動のよさを誉める。</p> <p>学習のまとめをするための方法について考えることを知らせる。</p>

4 本時「園児との体験交流（〇っ子祭り）」に意欲を高める場面」（13 / 18）

5 本時の目標

園児との遊びの体験交流に関心を持ち、木の葉や木の実を使った遊びをどう工夫したらよいか
聞き合おうとすることができる。（関心・意欲・態度）

園児を招待するために自分達の遊びを振り返り、さらに遊びを工夫・改良しようと言葉や作品
で表現することができる。（思考・表現）

6 本時指導の考え方

これまで子ども達は、校庭や公園に行き秋の様子の変化に興味・関心を持ち、秋見つけをした。夏と比べて秋にはたくさんの木の葉や木の実があり、それらを使って遊びたいという意欲を高め、実際に遊びを考えたり遊び道具を作ったりしてきた。昨年この学習で作った物や遊んだ物についての情報を集めるために2年生にインタビューすることで、「自分も作ってみたい。遊んでみたい。」という思いをもたせるためのきっかけになったと考える。さらに、1回目の遊びの体験・交流活動を通して、友達作品に触れたりアドバイスをもらったりすることで、「もっとよくしたい。もっと遊びたい。」という思いをもつことができた。その思いを実現するために、遊び道具の作成・改良に取り組み、友達との2回目の遊びの体験・交流活動を行った。

本時は、2回目の体験・交流活動を通して、「誰かに見せたい。」という思いを実現するために遊びをさらに工夫し、広げていこうとする学習である。2回の遊びの体験・交流活動を通して遊びの追求・改良を重ねてきた子ども達は、以前一緒に遊んだ保育園児に見せたい、一緒に遊びたいという思いを膨らませるであろうと考える。そこで、相手意識を明確にもたせた遊びの体験・交流活動へと発展させたい。

導入段階では、まず、前時に遊んだ後に書いた発見カードを教師が読んで賞賛し、自分や友達のよさを振り返らせる。そして、遊びを誰かに見せたい、もっと遊びを追求したいという思いから「ほいくえんのもと達とあそぶためのけいかくをたてよう。」というめあてをつかませる。

展開段階では、子ども達の「もっと遊びたい。誰かに見せたい。」という思いを大切にするためにも、保育園児を対象とした遊びの計画を立てるようにする。以前、園児と一緒に遊んだ子ども達は、また遊びたいという思いをもつであろうと考えられる。自分よりも年下の園児を招待することで遊びを工夫・改良していったり、思いやりをもった接し方を考えたりするであろうと思われる。そこで、「どんなことをしたら楽しめるか。どんな工夫をしたらいいか。」ということと同じ遊びのグループで聞き合い活動を行う。その際、園児のことを思って考えた内容については、全体の場で賞賛したい。この活動をすることで、さらに遊びの工夫への気付きが高まると考える。また、小学校では一番年下の子ども達が、自分よりも年下の子ども達を大切にしようという思いを高めるであろう。この活動を通して、互いに思いやる気持ちをもった支持的風土のある学級集団を目指したい。

終末段階では、「ふりかえりカード」をもとに本時学習のまとめをする。「ふりかえりカード」を数名発表させ、園児を招待しての遊びの体験・交流活動に対する意欲の高まりや「学級全体で成功させたい。」という思いをもたせたい。また、2回の遊びの体験・交流活動からの子ども達の様子を振り返ることで、子ども自身の成長へと気付かせていきたい。

7 準備

子ども	自分が作った遊び道具 色鉛筆やクレパス
教師	前時までの学習掲示物 前時に子ども達が書いた発見カード 画用紙やマジック 振り返りカード

8 本時の展開

学 習 活 動 と 内 容	教師の支援と子どもの評価活動 教師の支援 子どもの評価活動
<p>1 前時に遊んだ活動（2回目）を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 2回目の遊びで楽しかったことや工夫していたことなどを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くんのおかげで、どんぐりとどんぐりがしっかりついたよ。 ・さんと遊んで楽しかった。 <p>(2) もっとたくさんの人と遊びたいという思いをもち、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと他の遊びをしてみたい。 ・前、一緒に遊んだ保育園の子と遊びたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>— <本時のめあて> — ほいくえんのともだちとあそぶためのけいかくをたてよう。</p> </div> <p>2 遊びグループで、もっと遊びが楽しくなるためにはどんなことをしたらよいか聴き合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんぐりごまグループ 迷路グループ かんむりやかざりグループ けん玉グループ など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・チケットは、木の葉にしよう。 いっぱい集めないといけないね。 ・おみやげは、木の葉のしおりにしようか。 ・たくさんの子が楽しめるように、どんぐりごまをたくさん作ろう。 ・迷路が壊れやすいから、強くしよう。 <p>3 保育園児と楽しく遊ぶために、各遊びグループから出た考えを聴き合い、計画を立てる。</p> <p>(1) 各遊びグループの考えを全体で聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び道具の名前を決めたい。 ・看板を作りたい。 ・木の葉でチケットを作りたい。 ・説明書を書かないといけないね。 ・たくさんどんぐりごまを作って、おみやげにしようと思う。 <p>(2) 各遊びグループで、計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼び込みをする人がいるね。 ・遊びの説明書を書こう。 ・がんばって遊んでくれたお礼に、おみやげを作って渡そう。 ・チケット作りは、私達がするよ。 ・優しく声かけしてあげようね。 <p>4 「ふりかえりカード」を書いて本時学習をまとめ、次時学習について知る。</p>	<p>前時に書いた発見カードを読み、2回目の遊びで楽しかったことや工夫されたことなど、友達のよさを全体に広めるようにする。また、うれしかったことを言ってくれた友達に感想を言わせる場を設定する。</p> <p>もっとたくさんの人と遊ぶためにはどうしたらいいか考えさせる。</p> <p>以前、保育園児と一緒に遊んだことや、自分達が入学する前に1年生に遊んでもらった経験などを想起させ、園児と遊びたいという意欲をもたせる。</p> <p>自分達の遊び道具を持ってきて、各グループで聴き合わせるようにする。</p> <p>机間指導をし、工夫されている点については賞賛し、困っている点については助言をする。</p> <p>木の葉や木の実を使ったもので、園児を楽しませることを学級の約束とする。</p> <p>積極的な姿勢で聞き、共感的な態度で受け入れ、互いの考えが深まるように話すように心がける。</p> <p>各グループから出た考えをまとめて板書する。</p> <p>友達の考えを、自分達の遊びに取り入れようとしている。</p> <p>園児のことを思って考えた内容を全体で賞賛し、価値づける。また、心配なことも出させ、全体で解決することができるという安心感を持たせるようにする。</p> <p>考えを試すために、遊び道具の改良をする場を設定する。</p> <p>必要な材料や道具を揃えておき、いつでも計画を実行できるようにしておく。</p> <p>グループや全体での聴き合いを振り返り自分や友達ががんばったことを「ふりかえりカード」に書く。</p> <p>園児を招待する日時を知らせ、祭りの準備を進めていくことを伝える。</p>